

特集

# 戦争のない平和な未来を願って

平和祈念事業を通じ、将来の日本を担う子どもたちに、平和の大切さと尊さをあらためて伝えていきましょう。



悲劇「三船殉難事件」  
教訓を胸に平和を願う

終戦から70年を迎えた現在も、世界各地で争いが絶えることはありません。私たちは、過去の悲惨な出来事を教訓とし、平和への努力を一層強めていかなければなりません。

終戦後も多くの昭和20年8月22日、樺太(サハリン)から引き揚げる避難民を乗せた三船が、小樽方面に航行中に旧ソ連軍の潜水艦の魚雷攻撃を受け、1708人の尊い命が犠牲になる「三船殉難事件」が起きました。

攻撃を受けた三船は、「小笠原丸」が増毛沖、「泰東丸」が鬼鹿沖でそれぞれ沈没し、「第2新興丸」は留萌港にたどり着いたものの大破した状態で、傷ついた船体は傾き、船上の惨状は目を覆うものがあつたそうです。当時、留萌町警防団や警察署のほか、多くの町民が遺体の収容や埋葬、生存者の救護に当たったと記録されています。

犠牲者の慰霊碑は、平成7年に市が千望台に建設し、その後、22年に市民有志によって海のふろさと館隣接の岬緑地に移設しました。そして、

今でも多くの人が訪れ、平和への願いと犠牲者の冥福を祈っています。



▲三船殉難事件慰霊碑(岬緑地)

「留萌市平和祈念式典」  
平和への祈りを後世に

市は、恒久の平和や核兵器の廃絶を願い、昭和59年に下記のとおり「平和都市宣言」を行いました。また、8月15日の「終戦記念日」にちなみ毎年8月に「留萌市平和祈念式典」をはじめ、記録映画上映会や資料展、パネル展などさまざまな事業に取り組んできました。

戦争の記憶を風化させることなく、平和への祈りを後世につないでいかなければなりません。市では、今年も左記のとおり関連事業を展開します。子どもたちに平和の大切さを伝える義務を忘れず、平和のため祈り、行動することが大切です。

## 平和の集い「留萌市平和祈念式典」(戦没者・殉難者追悼式)

▼戦没者や戦争犠牲者の追悼に合わせ、戦争の悲惨さを後世に伝え、平和の大切さをあらためて思い起こしていただきたいという願いを込めた式典です。

ご遺族の方だけではなく、多くの皆さんの参列をお願いします。

日 8月17日(月) 13:00～

所 中央公民館講堂

※参列する方は、午後0時50分までに受け付けしてください。



## 「平和の折り鶴」を募集

▼平和への願いを込めた千羽鶴の募集を一年を通して行っています。

内 下記の施設内にある折り鶴専用ポストに投函してください。

市役所/保健福祉センターはーとふる/るもい健康の駅/市立病院

※集まった折り鶴は、「留萌市平和祈念式典」にささげたあと、広島市「原爆の子の像」へ平和の願いを込めて贈ります。



問 市・総務課 ☎ 42-1801

## 原爆資料展「広島・長崎原爆パネル展」

▼昭和20年8月、2発の原子爆弾が投下され、一瞬にして21万人以上の人命が奪われました。パネル展を通じ、平和の大切さや尊さ、戦争の悲惨さをあらためて考えてみませんか。

日 所 ①7月21日(火)～31日(金) るもいプラザまちなか賑わい広場(休館日を除く)

②8月3日(月)～14日(金) 保健福祉センターはーとふる1階ロビー(土・日曜を除く)

③8月17日(月) 「留萌市平和祈念式典」会場内(中央公民館講堂)

問 市・総務課 ☎ 42-1801

## 「アニメ・記録映画上映会」

▼市立留萌図書館では、樺太引揚船「小笠原丸」の殉難を描いたアニメ「戦争が終った夏に」、「三船殉難事件」に関する証言などをまとめたドキュメンタリー「慟哭の証言」の上映会を開きます。

●「戦争が終った夏に」(74分)

日 8月9日(日)10:30～/16日(日)13:30～

●「慟哭の証言」(70分)

日 8月9日(日)13:30～/16日(日)10:30～

## 「平和資料展 平和への祈り ～今に伝える戦争の悲劇～」

▼戦争の悲惨さや当時の過酷な生活などが記された図書の展示・貸出を行います。

日 8月2日(日)～27日(木)(休館日を除く)

所 市立留萌図書館ホール

内 展示図書:「留萌沖の悲劇」「樺太終戦秘話 三船殉難の記録」「月刊ダン(昭和50年8月号終戦特集:留萌沖に消えた千七百人)」など

問 市立留萌図書館 ☎ 42-2300

▼下記の日程でサイレンを吹鳴します。平和への願いを込め、1分間の黙とうをお願いします。

●「全国戦没者追悼式」 日 8月15日(土)12:00～

●「留萌市平和祈念式典」 日 8月17日(月)13:00～

●「北海道戦没者追悼式」 日 9月3日(木)12:00～

ご協力を  
お願いします

## 留萌市平和都市宣言

留萌市は次のとおり平和都市となることを宣言する。

真の平和を希求することは、人類共通の願いであり、この崇高な理想実現のため、常に努力を続けて行かなければならない。私たち市民は、今日の緊張した国際情勢を認識し、我が国の非核三原則の堅持はもとより、核戦争の脅威を排除するため、地球上から永久に核兵器が廃絶されることを強く願うものである。

ここに留萌市は恒久の平和を願い幸せな市民生活を守る決意を表明し、非核平和都市を宣言する。

昭和59年5月3日

※希求: 願い求めること 崇高: 何も比較できない偉大さ 堅持: かたく守って他に譲らないこと